LCDディスプレイ

ユーザーマニュアル

法的情報

本ドキュメントについて

- 本書には、本製品の使用および管理に関する説明が記載されています。以下に記載されている写真、図表、画像、およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。

- 本書に記載されている情報は、ファームウェアのアップデートやその他の理由により、予告なく変更される場合があります。本書の最新バージョンは、Hikvision のウェブサイト (https://www.hikvision.com) でご確認ください。別段の合意がない限り、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその関連会社（以下「Hikvision」といいます）は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証も行いません。

- 本ドキュメントをご利用の際は、本製品のサポートに関する訓練を受けた専門家の指導および支援を受けてください。

本製品について

本製品のアフターサービスサポートは、購入された国または地域でのみご利用いただけます。

知的財産権の承認

- Hikvision は、本書に記載された製品に組み込まれた技術に関連する著作権および/または特許を所有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。

- 本文書の一部（テキスト、画像、グラフィックなどを含む）は、Hikvision に帰属します。書面による許可なく、本文書のいかなる部分も、その全部または一部を、いかなる手段によっても抜粋、複製、翻訳、または改変することは禁じられています。

- HIKVISION およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、さまざまな法域において Hikvision の所有物です。

- その他、記載されている商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。

- HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE 「HDMI」、「HDMI High-Definition Multimedia インターフェース」、「HDMI Trade dress」、および「HDMI」ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

法的免責事項

- 適用される法律で許容される最大限の範囲において、本書および本書に記載されている製品（そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿」かつ「すべての欠陥およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISION は、商品性、満足のいく品質、特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的な保証を一切行いません。 本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行ってください。いかなる場合においても、HIKVISIONは、事業利益の損失、事業の中断、データの損失、 システムの破損、または文書の紛失を含むいかなる特別損害、結果的損害、付随的損害、または間接損害についても、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、またはその他の理由に基づくものであるかを問わず、本製品の使用に関連して生じた場合であっても、HIKVISIONがそのような損害または損失の可能性について通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負いません。

- お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、 ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について、一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて、HIKVISIONは適時に技術サポートを提供します。

- お客様は、本製品をすべての適用法令に従って使用することに同意するものとします。また、お客様の使用が適用法令に準拠していることを確保する責任は、お客様のみが負うものとします。 特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用する責任を負います。 お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、 核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、あるいは人権侵害を支援するいかなる活動も含まれます。

- 本文書と適用される法律との間に矛盾が生じた場合は、後者が優先する。

© 杭州海康視界デジタルテクノロジー株式会社。無断転載を禁じます。

はじめに

対象機種

本マニュアルは、LCD ディスプレイに適用されます。

記号の説明

本書で使用される記号の定義は以下の通りです。

記号	説明
危険	回避しなければ、死亡または重傷につながる、あるいはその恐れのある危険な状況を示します。
注意回避しなければ、機器の損傷、データの損失、性能の低下、または予期せぬ結果につながる可能性のある潜在的に危険な状況	回避しなければ、機器の損傷、データの損失、パフォーマンスの低下、または予期せぬ結果につながる可能性のある潜在的に危険な状況を示します。
注	本文の重要な点を強調または補足するための追加情報を提供します。

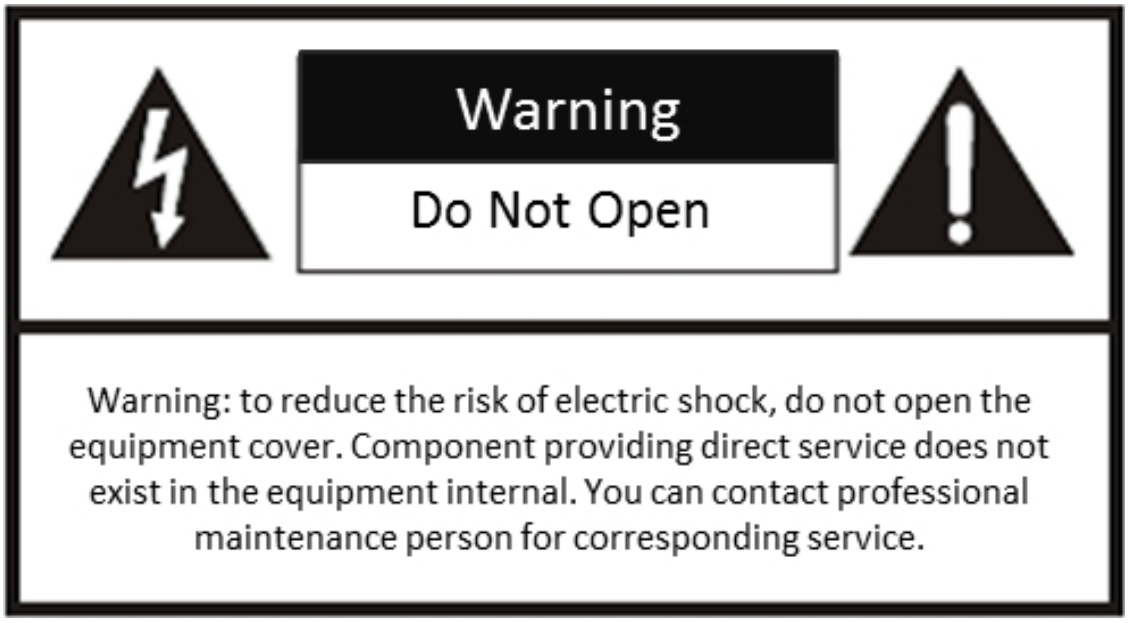
安全上の注意

警告

- 本製品を使用する際は、国および地域の電気安全規制を厳守してください。
- 注意：火災の危険性を低減するため、ヒューズを交換する場合は、必ず同じ種類および定格のヒューズと交換してください。
- 本機器は、接地された電源コンセントに接続してください。
- 建物の電気設備には、全極主電源スイッチを組み込む必要があります。
- 注意：本機器は、指定されたブラケットでのみ使用してください。他のもの（カート、スタンド、キャリアなど）と併用すると、不安定になり、怪我の原因となる恐れがあります。
- 電池を飲み込まないでください。化学火傷の危険があります。
- 本製品にはコイン型/ボタン型電池が含まれています。コイン型/ボタン型電池を飲み込むと、わずか 2 時間で重度の内部火傷を引き起こし、死に至る可能性があります。
- 新品および使用済みの電池は、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 電池ケースがしっかりと閉まらない場合は、本製品の使用を中止し、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 電池を飲み込んだ、あるいは体内のどこかに取り込まれた可能性があると思われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

- 注意：誤った種類の電池に交換すると、爆発の危険があります。

- 不適切な種類の電池と交換すると、安全装置が機能しなくなるおそれがあります（一部のリチウム電池など）。
- 電池を火や高温のオーブンに投げ込んだり、機械的に押しつぶしたり、切断したりしないでください。爆発の原因となる恐れがあります。
- 極端に高温の環境にバッテリーを放置しないでください。爆発や可燃性液体・ガスの漏出の原因となる恐れがあります。
- バッテリーを極端に低い気圧にさらさないでください。爆発や可燃性液体・ガスの漏出の原因となる恐れがあります。
- 使用済みのバッテリーは、指示に従って廃棄してください。
- 火災や感電の危険を減らすため、本機を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。
- 電源を切った後も、短時間、放電が続く場合があります。電源を切ってから 2 分待ってから、本機を操作してください。
- 感電の危険を避けるため、電源が入っている間は操作を行わないでください。
- 火災や感電の危険を避けるため、過負荷の AC 電源コンセントを使用したり、電源コードを延長したりしないでください。
- 本製品には高電圧・大電流が流れているため、通気口や開口部に物を挿入することは禁止されています。物を挿入すると、感電や内部部品の短絡の原因となります。火災や感電の危険を防ぐため、液晶ディスプレイに水やその他の液体が触れないようにし、クリップやピンなどの物が液晶ディスプレイに落ちないようにしてください。



注意

- LCDディスプレイは国際規格に準拠して設計されています。しかし、不適切な使用は感電や火災を引き起こし、人身事故や財産の損失につながる可能性があります。潜在的な危険を防止し、安全を確保し、製品の寿命を延ばすため、製品の設置、使用、および清掃の際は、取扱説明書をよくお読みの上、その指示に従ってください。

- 本製品の取扱説明書は、将来参照できるよう適切に保管してください。
- 本マニュアルの指示に従って、本機器を設置してください。
- 怪我を防ぐため、本機器は設置説明書に従ってブラケットにしっかりと取り付けてください。
- 本機器は、水滴や水しぶきにさらさないでください。また、花瓶など、液体が入った物を本機器の上に置かないでください。
- AC 電源に接続するための端子の配線が正しいことを確認してください。
- 本機器は、必要に応じて、IT 電源システムに接続できるよう設計、改造されています。
- はバッテリーホルダー自体を示し、はバッテリーホルダー内のセルの位置を示しています。
- + は、直流を使用または発生させる機器のプラス端子を示します。
  - は、直流電流を使用または発生させる機器のマイナス端子を示します。
- 火のついたろうそくなどの裸火を本機器の上に置かないでください。
- 点灯したろうそくなどの裸火を本機器の上に置かないでください。新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどの物品で通気口を覆い、通気を妨げないでください。ベッド、ソファ、ラグ、またはその他の同様の表面に本機器を置いて、通気口を塞がないでください。
- 十分な換気を確保するため、機器の周囲には最低8 mmのスペースを確保してください。
- 本機器の USB ポートは、マウス、キーボード、または USB フラッシュドライブの接続にのみ使用してください。
- 本機器を移動または使用する際は、垂直な状態を保ってください。
- 本機器を使用する際は、強い振動のない、風通しの良い乾燥した場所に置いてください。
- 保管および使用の際は、湿気、雨、砂、直射日光、その他の高温になる場所に本製品をさらさないでください。
- メーカー以外が推奨する部品は使用しないでください。不適切な部品の使用は事故につながる恐れがあります。
- 電源が入っている状態で、電源コードを頻繁に抜き差ししないでください。
- 他の機器の電源コードは使用しないでください。電源コードの交換は、正規販売店から入手した同仕様のもののみを使用してください。
- 電源コードが踏まれたり、その上に物が置かれたりしないよう、正しく配置してください。
- 標準の 220 VAC 電源を使用してください。
- 本製品の消費電力は、製品の種類によって異なります。本製品を長期間使用しない場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 以下のいずれかの現象が発生した場合は、電源コードを抜き、サービスセンターにご連絡ください。
  - 電源コードやプラグが破損している場合。
  - 製品に液体が飛び散ったり、異物が製品内部に落ちたりした場合。
  - 製品が雨や水にさらされた場合。
  - 本製品が取扱説明書に従って正しく操作されていない場合。取扱説明書に記載されていない操作を行わないでください。取扱説明書に記載されていない操作を行うと、本製品が破損する原因となり、技術担当者による多くの調整作業が必要となります。
  - 製品が落下したり、破損したりした場合。
  - 本製品が異常動作をする。

- 製品の部品を交換する場合は、火災、感電、または認定されていない部品の使用によって生じるその他の損傷を防ぐため、保守担当者がメーカー指定の部品、または純正部品と同等の性能を持つ部品を使用するようにしてください。
- サービスやメンテナンスが完了した後、保守担当者は、製品の安定した動作を確保するために安全点検を行う必要があります。
- 製品を壁や天井に取り付ける場合は、メーカーが推奨する方法に従って取り付けてください。
- ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他の発熱製品など、熱源から製品を遠ざけてください。
- 死亡、負傷、重傷などの致命的な危険を伴う状況での本製品の使用は禁止されています。

目次

第1 の概要 **1**

1.1 はじめに 1

1.2 主な機能 1

第2章 概要はじめに主な機能 **2**

2.1 xml-ph-0000@deepl.internalのリモコン操作リモコン機能 2

2.2 OSDメニューの操作 3

2.3 画面制御 4

2.4 仮想リモコン 4

2.5 モードの説明 5

第3章　設置と接続 **7**

3.1 設置に関する注意事項 7

3.2 操作上の注意事項 7

3.3 電源コードの接続 8

3.4 システムの接続 8

3.5 クリーニングとメンテナンス 9

第4章 クライアントの設定と操作 **11**

4.1 登録とログイン 11

4.2 xml-ph-0000@deepl.の設定と操作登録とログイン 13

4.2.1 シリアルポートの設定 13

4.2.2 画面レイアウトの設定 13

4.2.3 画面IDの照合 14

4.3 画面管理 17

4.3.1 信号ソースの切り替え 17

4.3.2 画面の結合 19

4.3.3 シーンの管理 22

4.3.4 画面の時間同期 22

4.3.5 画面ステータスの表示 23

4.3.6 画面パラの設定 25

4.4 画面のオン／オフ 26

4.4.1 画面を手動でオン／オフにする 26

4.4.2 スケジュールに従って画面のオン／オフを切り替える 26

4.5 クライアント管理 28

4.5.1 クライアントのロック／ロック解除 28

4.5.2 ログインパスワードの変更 28

4.5.3 自動ログインの有効化／無効化 29

4.5.4 クライアント情報の表示 29

4.5.5 オープンソースソフトウェアのライセンスを表示 29

第1章 概要

1.1 はじめに

この LCD ディスプレイは、産業用超狭額縁と直下型 LED バックライトを採用しています。超高輝度、均一な輝度、境界の影がないこと、長寿命などの特徴があります。内蔵のスプライシングコントローラにより、同じソース信号からの画面の自動スプライシングを実現します。豊富なインターフェースを備えたこの LCD ディスプレイは、複数の信号タイプに対応し、赤外線およびシリアル制御の両方をサポートしています。

注

背面パネルのインターフェース構成は、製品のバージョンや具体的なモデルによって異なります。本書に記載されているインターフェース機能は、シリーズ全体で想定されるすべてのタイプを網羅しています。お使いのデバイスの背面パネルにある実際の構成をご確認ください。お使いのデバイスに特定の種類のインターフェースが搭載されていない場合、そのモデルではその機能がサポートされていないことを意味します。

1.2 主な特長

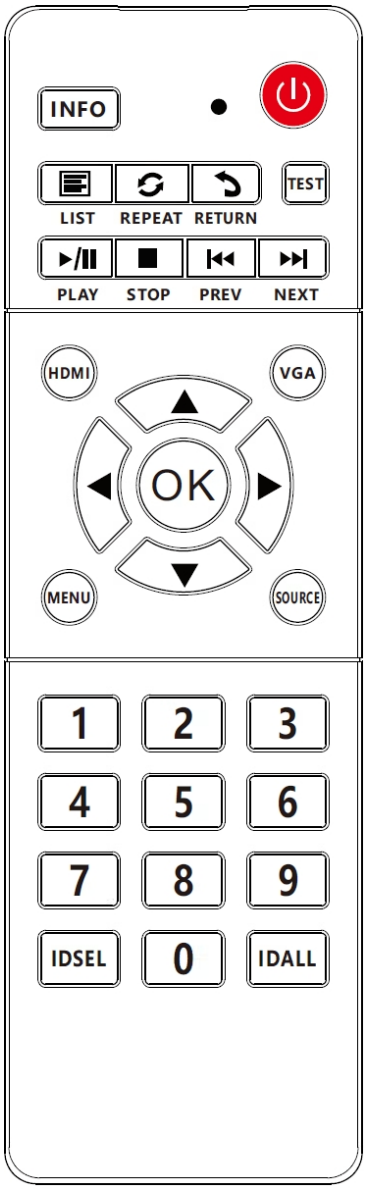
- 輝度が均一なダイレクトライト方式のLEDバックライト。
- 超高解像度、178°の視野角。
- 超狭額縁デザイン。
- 色均一性を確保するための工場出荷時キャリブレーション。
- アンチグレア、高解像度、高輝度、広色域、そして豊かな色彩の鮮やかな画像。
- 安定した24時間連続稼働。
- 放射線や電磁界の干渉を防ぐ金属製筐体。
- さまざまな設置要件に対応するため、ウォールマウント用およびモジュラー式のブラケットをご用意しています。
- 画面操作はクライアント自身で行えます。

第2章 リモコン

2.1 リモコンの機能

次の表は、リモコンの機能について示したものです。

表 2-1 リモコンの機能

外観	キー	機能
	INFO	システム情報を表示します。
		電源ボタン：LCD ディスプレイのスタンバイ／ウェイクアップ機能を制御します。
	LIST	USBソースで、再生可能なすべてのコンテンツを一覧表示します。
	REPEAT	USB ソースで、再生モードを調整します。
	RETURN	USB ソースで、前のメニューレベルに戻ります。
	TEST	エージングテストを開始します。
	PLAY	USB ソースで、再生の一時停止と再開を切り替えます。
	STOP	USBソースで、コンテンツの再生中に再生を直接終了します。
	PREV	USBソースで、前のコンテンツの再生に切り替えます。
	NEXT	USB ソースで、次のコンテンツの再生に切り替えます。
	HDMI	HDMIソースでない場合、HDMIに直接切り替えます。
	VGA	VGAソースでない場合は、直接VGAに切り替える。
	方向	フィールドやメニュー項目間を移動します。パラメータを調整します。
	OK	選択を確定します。
	MENU	メニューに入ります／メニューを終了します。
	SOURCE	信号源を切り替えます。
	0-9	数字を入力して目的の画面を選択するか、工場出荷時設定メニューなどの特別メニューに入ります。
	IDSEL	表示したい画面を選択します。

外観	キー	機能
	IDALL	すべてのディスプレイを選択します。

2.2 OSDメニューの操作

LCD ディスプレイの OSD メニューを使用して、いくつかの調整を行うことができます。

メニュー設定

リモコンの「**MENU**」ボタンを押すと、メニュー設定画面が表示されます。以下の表に設定内容を示します。

表 2-2 メニュー設定

<table>
<tr><th>メニュー</th><th colspan="2">設定</th></tr>
<tr><td>信号入力ソース</td><td colspan="2">● インターフェース：HDMI/DP/VGA/DVI/TV USB（実際にサポートされる信号は、背面パネルのインターフェース構成によって異なります。
● 音量：0 ～ 100
● バックライト：0 ～ 100
● ミュート：オン／オフ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">画像設定</td><td>画像モード</td><td>● 画面モード：標準／プレゼンテーション／映画／モニター／テキスト／ユーザー
● 色温度：0～100。
● 明るさ：0 ～ 100。
● コントラスト：0 ～ 100。
● 彩度：0 ～ 100。
● シャープネス：0～30。
● バックライト：0～100。
● ダイナミックバックライト：オン／オフ。</td></tr>
<tr><td>画像設定</td><td>● カラー空間：0～255／16～235。
● アスペクト比：16:9/4:3/1:1。
● 画像品質補正：オン/オフ。
● EDID スイッチ：1080p 画像に適した EDID 1.4。4K 画像に適した EDID 2.0。
● HDR：オン／オフ。
● 自動調整：オン／オフ。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">全般設定</td><td>ジョイント設定</td><td>● ジョイント設定：オン/オフ。
● 水平スクリーン：1 ～ 15。
● 垂直スクリーン：1 ～ 15。
● 水平位置：1 ～ 15。
● 垂直位置：1 ～ 15。</td></tr>
<tr><td>ID 設定</td><td>● 設定モード：手動／自動。
● 合計行数：1～15。
● 列の総数：1～15。</td></tr>
</table>

メニュー	設定	
		● **自動設定**：ID を自動的に設定するように選択します。 ID を自動的に設定します。
	制御のリンク方法	● **制御のリンク方法**：オン／オフ。 ● **ビデオウォールNo.**：1～100。 ● **インテリジェントシーン**：オン／オフ。
その他の設定	**過熱アラーム**	● **過熱アラーム**：オン/オフ。温度が指定値を超えると、アラームが作動します。 ● **アラーム温度**：0～100。アラーム温度を設定できます。 温度を設定できます。
	音量設定	● **音量**：0～100。 ● **ミュート**：オン／オフ。
システムのメンテナンス	**システム情報。**	● **ソフトウェアバージョン**：ソフトウェアのバージョンに関する情報。 ● **ミュート**：オン／オフ。システムメンテナンスシステム情報。 ● **現在の温度**：デバイスの現在の温度。 ● **シリアルNo.**：デバイスのシリアルNo.。
	OSD 設定	● **OSD 言語**：英語/中国語。 ● **OSD タイムアウト**：オフ／15 秒／30 秒。 ● **自動スリープ**：オフ／1 分／10 分。 ● **信号なし**：青/黒。
	システム メンテナンス	● **アップグレード/復元**：オン/自動。

2.3 画面制御

リモコンを使用して、1 つの画面、複数の画面、またはすべての画面を制御できます。1 つの画面を制御するには、**IDSEL を**押して画面 ID を選択します。

複数の画面を制御するには、**IDSEL を**押して画面 ID を選択します。たとえば、**IDSEL → 0101 → 2 を**押して、画面 0101 および画面 0202 を選択します。

注

マルチスクリーン制御に対応しているのは、一部のLCDディスプレイモデルのみです。すべての画面を制御するには、**IDSEL**を押してから、**IDALL**を押してください。

2.4 仮想リモコン

クライアントインターフェースの左下隅にある仮想リモコンには、物理的なリモコンにある一般的なボタンが配置されており、その機能は対応する

物理リモコンのボタンと同一の機能を備えています。各ボタンの説明については、「2.1 リモコン機能」を参照してください。

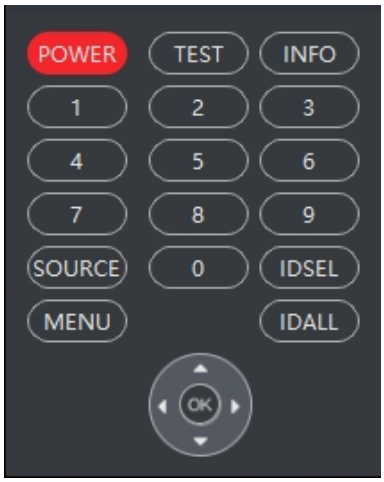


図 2-1 仮想リモコン

2.5 モードの説明

LCD ディスプレイは、4 つの主要な動作モードに対応しています。それぞれの具体的な定義と動作ロジックについては、以下で詳しく説明します。

表 2-3 モードの説明

モード	入力方法	終了方法	ステータス
電源投入	背面パネルの電源コードを接続します。背面パネルにスイッチがある場合は、それを「I」の位置に切り替えます。	背面パネルの電源コードを抜きます。背面パネルにスイッチがある場合は、スイッチを「O」の位置に切り替えます。	● 背面パネルの**電源**インジケータが緑色に点灯します。 ● 通常の画像表示。
電源オフ	背面パネルの電源コードを抜きます。背面パネルにスイッチがある場合は、スイッチを「O」の位置に切り替えます。	背面パネルの電源コードを接続します。背面パネルにスイッチがある場合は、それを「I」の位置に切り替えます。	● 背面パネルの**電源**インジケータが消灯しています。 ● 画像が表示されません（画面が真っ暗です）。 ● 消費電力：0.3 W 以下。
	● 物理キーの「⏻」を押してください。	● ⏻本体の ボタンを押してください	● 背面パネルの**電源**インジケーターが赤く

スタンバイ時	物理リモコン。 ● 仮想リモコンの「**電源**」ボタンをクリックしてください（リモコンの左下にある	リモコンの左下）のPOWERボタンをクリックします。 ● 仮想リモコンの「**電源**」ボタンをクリックしてください（クライアント画面の左下	点灯します。 ● 画像が表示されません（画面が真っ暗）。 ● 消費電力：

モード	入力方法	終了方法	ステータス
	クライアントインターフェース）。 ● **「画面オフ」**ボタン（クライアントインターフェースの右上）をクリックします。	インターフェース）。 ● **「Screen On」**ボタン（クライアントインターフェースの右上）をクリックします。	0.5 W 以下。
ネットワークスタンバイ	電源投入後、10 分以内に信号が検出されない場合、LCD ディスプレイに「No Signal」というメッセージとカウントダウンタイマーが表示されます。カウントダウンが終了すると、システムはデフォルトで自動的にこのモードに入ります。	● 信号が検出されました。 ● 物理的なリモコンの「 」を押してください。 ● 仮想リモコンの**「電源」**ボタンをクリックします（クライアントインターフェースの左下）のPOWERボタンをクリックします。 ● **「Screen On」**ボタン（クライアントインターフェースの右上）。	● 背面パネルの電源インジケータが赤く点灯します。 ● 画像が表示されません（画面が真っ暗です）。 ● 消費電力：2.0 W 以下。

第3章 設置および接続

3.1 設置に関する注意事項

- LCDディスプレイの設置や移動は、2名以上で行ってください。
- LCD ディスプレイを移動させる際は、背面および底面のグリップを必ず握ってください。LCD 画面を直接持たないでください。破損、故障、または人身事故の原因となる恐れがあります。
- LCD ディスプレイは、水平線に対して垂直に取り付ける必要があります。
- LCD ディスプレイを壁に取り付けるには特別な技術が必要であり、専門家が行う必要があります。LCD ディスプレイの取り付けを自分で行おうとしないでください。不適切な取り扱いまたは誤った取り扱いによって生じた事故や人身傷害について、当社は一切の責任を負いません。
- LCD ディスプレイは、0 °C から 40 °C の室温で使用してください。内部の熱を放散させるため、周囲に十分なスペースを確保してください。
- 通気口を塞がないでください。液晶ディスプレイの内部温度が上昇すると、デバイス例外が発生する可能性があります。
- 高温の機器の上に液晶ディスプレイを置かないでください。
- 本LCDディスプレイ専用に設計された取り付けベースおよびウォールマウントブラケットをご使用ください。
- 設置前に、筐体とスクリーンパネルをきれいに拭いてください。そうしないと、スクリーンの使用に支障をきたす恐れがあります。
- 画面を取り付ける際は、しっかりと固定してください。ただし、締め付けすぎないようにしてください。締め付けすぎると、変形により画面が正常に動作しなくなる場合があります。
- 調整や使用中の不適切な取り扱いにより、機器が損傷するおそれがあります。LCD ディスプレイは連続使用が可能です。

3.2 操作上の注意

本装置の LCD パネルは、高精度技術を用いて製造されています。ただし、画面上に薄暗く見える小さな斑点が見られたり、横から見たときに画面が色かすれしたり、明るさにムラがあるように見える場合があります。しかし、上記の現象は LCD ディスプレイでは一般的なものであり、故障ではなく、LCD ディスプレイの性能には影響しません。

- 本マニュアルに記載されている LCD ディスプレイおよびそのアクセサリーは、予告なく変更される場合があります。
- LCD ディスプレイは、0 °C から 40 °C の室温で使用してください。
- この LCD ディスプレイには壊れやすい材質が使用されており、落下や衝撃によって破損する恐れがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- 画面に静止画像を長時間表示させないでください。そうしないと、画面に「残像」が残り、LCD ディスプレイの正常な使用に支障をきたす恐れがあります。
- 硬い物で LCD ディスプレイに傷をつけたり、叩いたりすることは固く禁じられています。頻繁に電源のオン/オフを行わないでください。本機に衝撃を与えないでください。上記の行為は、本機の損傷や劣化を早める原因となります。

- 液晶ディスプレイが正常に動作しない場合、特に内部から異常な臭いがする場合は、直ちに電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。
- 法律で定められた補償を除き、当社は、お客様または第三者による本機の使用に起因する誤動作、およびその他の関連する故障や損害について一切の責任を負いませんのでご注意ください。
- ほこりの多い環境、湿度の高い環境、あるいは油や水蒸気にさらされる可能性のある環境では、LCD ディスプレイを使用しないでください。火災や本機の損傷の原因となる恐れがあります。
- LCD ディスプレイを不安定な物体の上や、安全でない場所に置かないでください。LCD ディスプレイに強い衝撃や振動を与えないでください。本機を落下させると、破損するおそれがあります。
- 暖房器具の近くや高温になる可能性のある場所では、液晶ディスプレイを使用しないでください。本機が過熱し、火災の原因となる恐れがあります。
- LCDディスプレイを設置する前に、アクセサリーに不足がないかご確認ください。不足がある場合は、販売店にご連絡ください。

3.3 電源コードの接続

電源を接続する際は、電源プラグの一方の端を液晶ディスプレイの背面パネルにある電源入力端子に差し込み、もう一方の端を適切に接地された電源コンセント（AC 220 V、50/60 Hz）に差し込んでください。
電源コードの使用にあたっては、以下の点に注意してください。

- LCDディスプレイを長期間使用しない場合は、本体の電源を切り、電源コードを抜いてください。
- 電源コードを損傷させないでください。電源コードの上に重い物を置いたり、電源コードを引っ張ったり、過度に曲げたりしないでください。電源コードが損傷すると、火災や感電の原因となる可能性があります。
- LCDディスプレイに同梱されている純正の電源ケーブルのみを使用してください。同仕様の電源ケーブルを購入するには、正規販売店にお問い合わせください。
- 直流電源を接続しないでください。
- 電源プラグは、ACコンセントに直接差し込んでください。延長コードを追加して使用すると、過熱により火災の原因となる恐れがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜いたり差し込んだりしないでください。感電の原因となる恐れがあります。
- 電源コードが破損している、または故障している場合は、修理を試みないでください。修理については、サービスセンターにご連絡ください。

3.4 システム接続

LCDディスプレイは、信号ループビデオ入力ポート（例：HDMI）からビデオ信号を受信し、信号ループビデオ出力ポートを介して次の機器に信号を送信します。ここでは、2×2の接続例を挙げて説明します。接続を行う際は、下図に示す配線方法に従ってください。

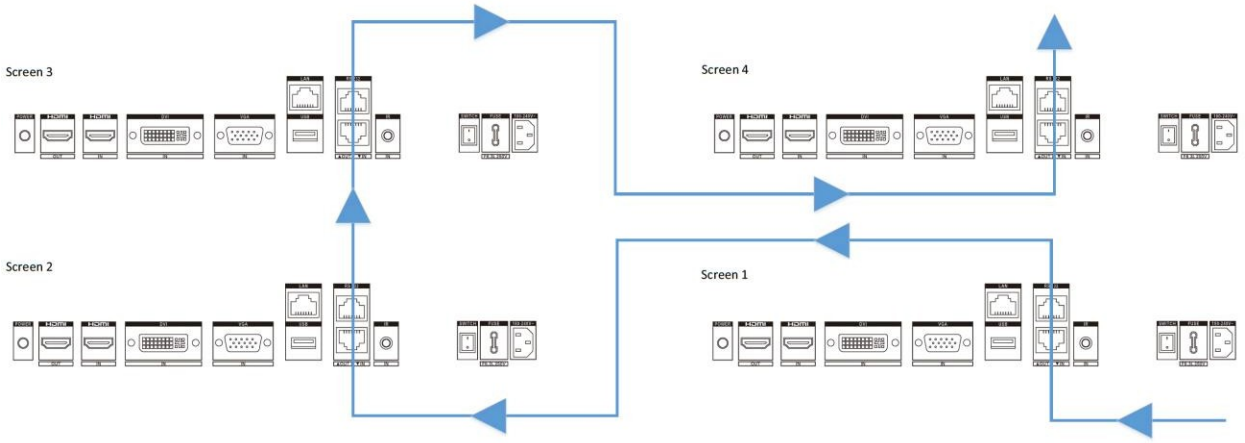


図 3-1 シリアルポートの接続

注

- ケーブルの長さや環境条件によって、画像の品質に影響が出る場合があります。
- 信号入力ポートとしては、HDMI インターフェースの使用をお勧めします。
- LCD ディスプレイを PC に接続するには、アダプタが必要です。
- ケーブルの接続作業を行う際は、主電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてください。まず、*設置ガイド*をお読みください。
- 入力インターフェースと出力インターフェースを混同しないでください。混同すると、デバイスの異常やその他の問題を引き起こす可能性があります。
- 配線作業中は、電源ケーブル、信号ケーブル、シリアルポートケーブルを一緒に束ねないでください。電源ケーブルはシリアルポートケーブルに電磁干渉を引き起こし、通信異常やデバイスの制御に影響を与える可能性があります。

3.5 清掃およびメンテナンス

注

LCD ディスプレイを清掃する前に、必ず電源コードを抜いてください。ご自身でメンテナンスを行わないでください。筐体を開けると、高電圧やその他の危険な物質にさらされる恐れがあります。LCD ディスプレイのメンテナンスは、専門家が行う必要があります。

LCDディスプレイの画面パネルの清掃

- 画面を拭く際は、画面の表面コーティングを傷つけないよう、縮まない乾いた布を使用してください。化学繊維の布や洗剤は、その成分によって画面表面の色あせや損傷を引き起こす可能性があるため、使用しないでください。硬い布や粗く硬い物で画面を拭かないでください。画面表面を傷つける恐れがあります。
- 画面の表面に指紋などの油汚れが付着している場合は、
  中性洗剤を薄めた液で拭き、その後、柔らかく乾いた布で画面を乾かしてください。

スプレー式クリーナーは、コーティングが剥がれたり、クリーナーが機器内部に入り込んで故障の原因となる可能性があるため、使用しないでください。

LCD ユニットの筐体の清掃

- 筐体を拭く際に、ベンジン、シンナー、その他の化学製品を使用しないでください。また、殺虫剤などの揮発性溶剤を筐体に吹き付けたり、プラスチックやゴム製の材質に長時間さらしたりしないでください。化学繊維の布、洗剤、パラフィンも使用しないでください。上記の行為はすべて、筐体のひび割れ、変形、剥がれの原因となる可能性があります。
- 縮まない布を使用して、本体の筐体およびリモコンを拭いてください。汚れがある場合は、中性洗剤を薄めた液に浸した柔らかい湿った布で拭き、その後、柔らかく乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 酸性・アルカリ性の洗剤、アルコール系洗剤、研磨剤、石鹸粉、OA用クリーナー、カーワックス、ガラス用クリーナーなどは、筐体のひび割れ、変色、傷の原因となる可能性があるため、使用しないでください。

第4章 クライアントの設定と操作

4.1 登録とログイン

手順

1. ディスク内の「**LCD Display Controller.exe**」をダブルクリックし、Install Shield ウィザードに従ってクライアントをインストールします。

注

コンピュータの推奨実行環境：

- オペレーティングシステム：
- Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10（32/64ビット）の英語版システム。Windows 7 64ビットシステムを推奨します。
- CPU：
- Intel Pentium4.3.0@3.0GHz以上。Core i3-2100 3.1GHzを推奨。
- メモリ:
- 2 GB以上、4 GBを推奨。
- グラフィック:
- RADEON X700シリーズ以上、NVIDIA GeForce GT730を推奨。
- GPU：
- 256 MB以上（512 MB推奨）。

2. クライアントへの初回ログイン時に、管理者ユーザーを登録する必要があります。パスワードを入力し、確認してください。

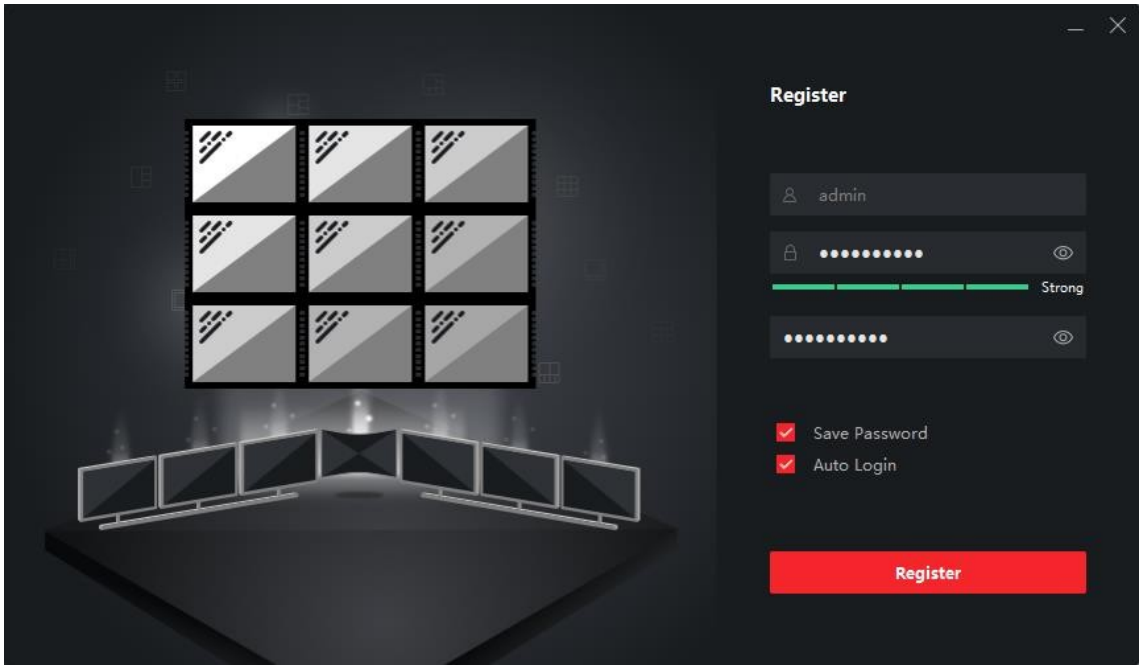


図4-1 登録インターフェース

注

製品のセキュリティを強化するため、ご自身で選択した強力なパスワード（大文字、小文字、数字、特殊文字を含め、8 文字以上）を設定することを強くお勧めします。

3. オプション：「**パスワードを保存**」および「**自動ログイン**」に必要に応じてチェックを入れます。
4. **[登録]** をクリックして、クライアントにログインします。

注

パスワードを忘れた場合は、クライアントをアンインストールしてから再インストールする必要があります。クライアントの設定を再度行う必要があります。

4.2 基本設定

4.2.1 シリアルポートの設定

登録が完了すると、「**シリアルポート設定**」インターフェースが表示されます。画面を制御するには、まずお使いのPCのシリアルポートを設定する必要があります。シリアルポートの設定が正しくない場合、画面の制御に失敗する可能性があります。

開始する前に

シリアルポートが正しく接続されていることを確認してください。接続が正しくない場合、一部の機能が利用できない、または正常に動作しないことがあります。

手順

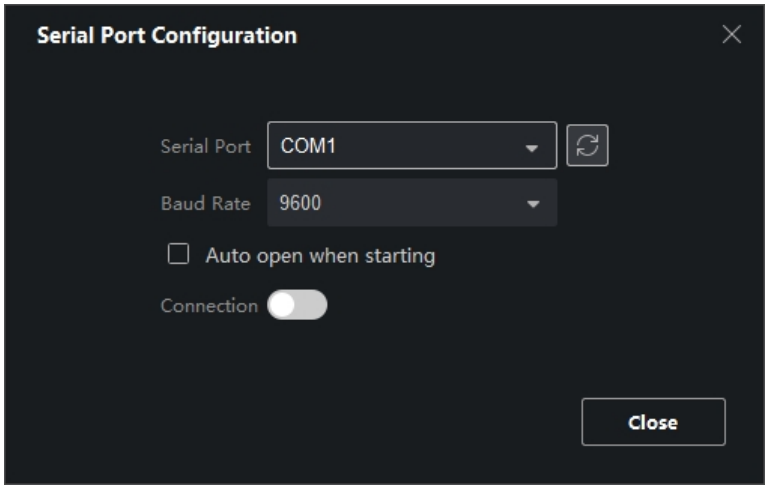


図 4-2 シリアルポートの設定

1. 「**シリアルポート**」を選択します。お使いのPCのシリアルポートは、「**コンピュータ**」→「**管理**」→「**デバイスマネージャー**」→「**ポート**」から確認できます。
2. 「**Baud Rate**」を選択します。9600 を推奨します。
3. **接続を**有効にします。

注

- [**起動時に自動で開く**] がチェックされている場合、次回クライアントにログインしたときに、ここで設定されたシリアルポートに自動的に接続されます。
- PC のシリアルポートが変更された場合は、「**Serial Port**」の横にある「 」をクリックして、シリアルポートを自動的に取得・更新してください。

4.2.2 画面レイアウトの設定

シリアルポートの設定が完了したら、実際の

接続に合わせて画面レイアウトを設定する必要があります。

手順

1. クライアントの右上隅にある「**行数**」と「**列数**」を入力します。

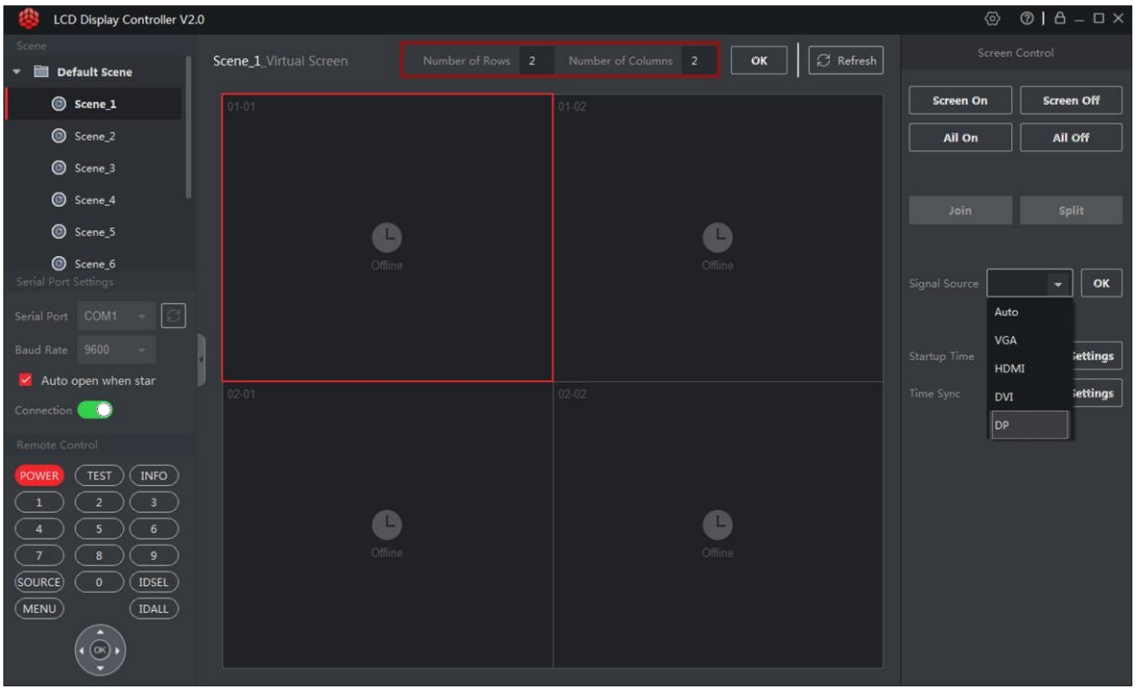


図 4-3 画面レイアウトの設定

2. **[OK]** をクリックして、画面レイアウトを保存します。
3. オプション：「**更新**」をクリックして、最新の画面ステータスを取得します。

注

[更新] は、画面番号が 9 以下の場合にのみ使用できます。画面番号が 9 を超える場合、クライアントには **[更新]** ボタンは表示されません。

4.2.3 画面 ID を照合する

手動または自動の照合により、画面を区別するために画面 ID を照合する必要があります。

注

一部の LCD ディスプレイモデルでは、画面 ID が一致すると自動的に再起動します。

手動での照合

開始する前に

画面レイアウトが設定されています。

手順

1. クライアントの右上隅にある [ ] をクリックします。
2. ポップアップウィンドウで [**Confirm**] をクリックし、技術ページに入ります。

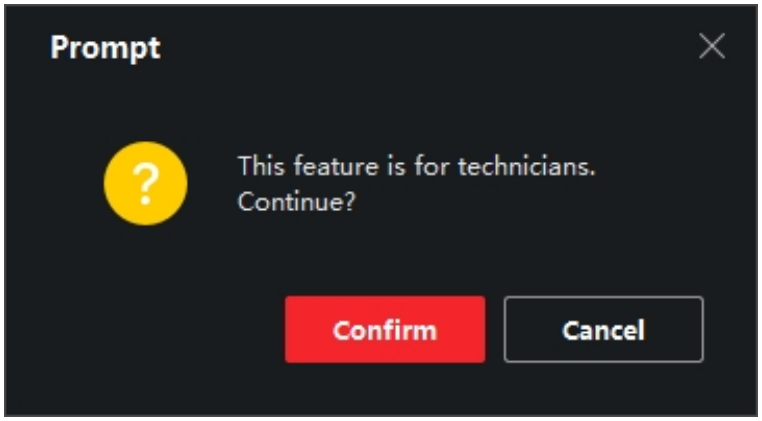


図 4-4 プロンプト

注

「 」をクリックして、ホームページに戻ります。

3. **[Manual Match]** → **[Start Matching]** をクリックして、画面 ID を手動で照合します。

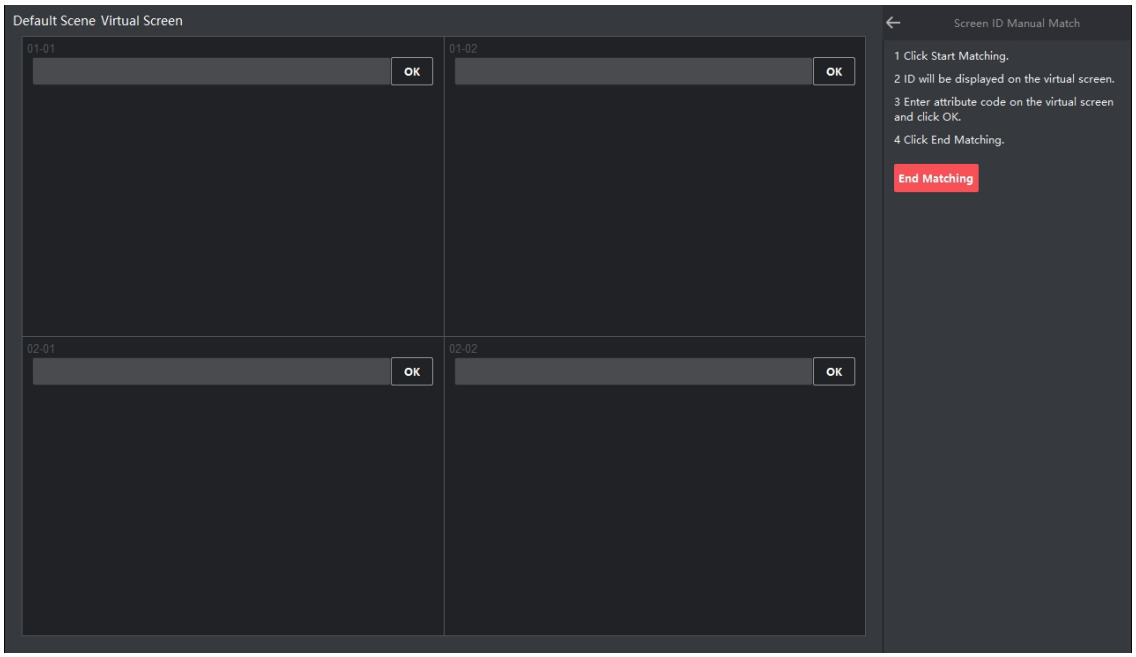


図 4-5 画面 ID の手動マッチング

4. **[Start Matching]** をクリックすると、各物理画面の左上隅に、その画面を定義する属性コードが表示されます。物理画面の実際の位置に合わせて、仮想画面のテキストボックスにその属性コードを入力してください。

注

画面レイアウトが 10 × 6 を超える場合は、仮想画面上の**「一致」**をクリックし、ポップアップ表示されるテキストボックスに属性コードを入力する必要があります。

5. **「OK」**をクリックして、最初の画面の手動マッチングを完了します。
6. すべての画面のマッチングが完了したら、**「End Matching」**をクリックします。

注

リモコンを使用して画面 ID を照合することもできます。

自動マッチング

開始する前に

画面レイアウトが設定されています。

手順

1. クライアントの右上隅にある [ ] をクリックします。
2. ポップアップウィンドウで**「Confirm」**をクリックし、テクニカルページに入ります。
3. **「Auto Match」**をクリックします。

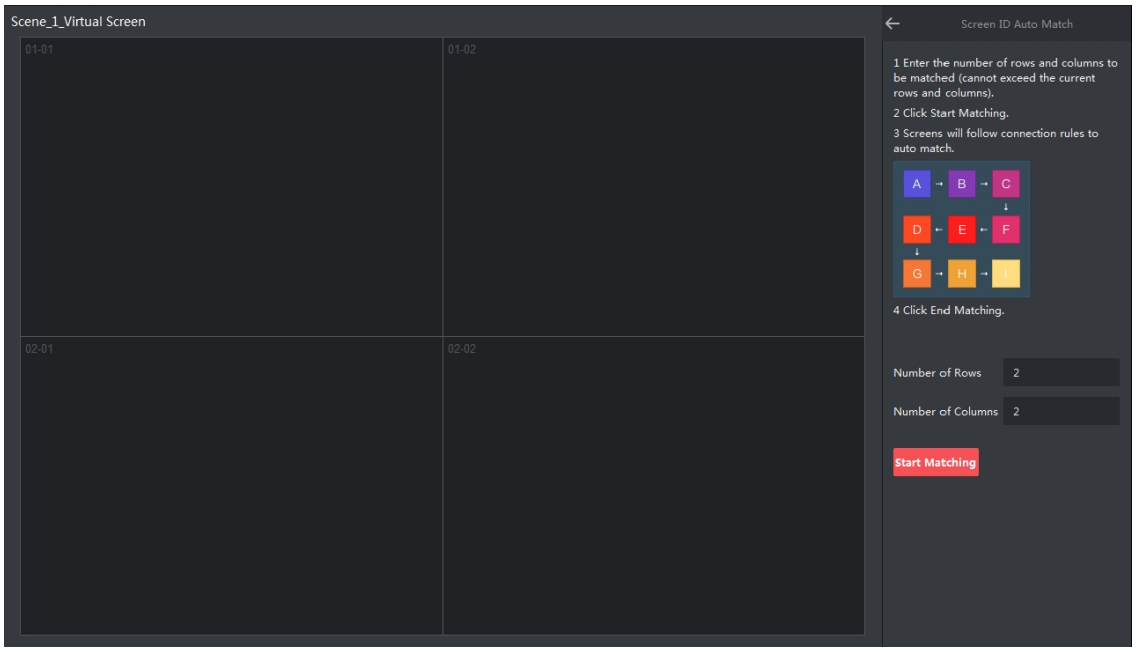


図 4-6 「Auto Match」画面 ID

4. 実際の接続状況に応じて、**「行数」**と**「列数」**を入力します。

注

行数と列数は、実際の画面レイアウトと同じである必要があります。そうでない場合、画面 ID の自動一致処理中にエラーが発生します。

5. [**照合開始**] をクリックして、画面 ID の自動照合を完了します。

4.3 画面管理

4.3.1 信号ソースの切り替え

手順

1. 1 つ以上の仮想画面を選択します。
2. 信号源の切り替えは、次の 2 つの方法で行えます。
   - 右クリックして [**信号源の切り替え**] を選択し、信号源を切り替えます。

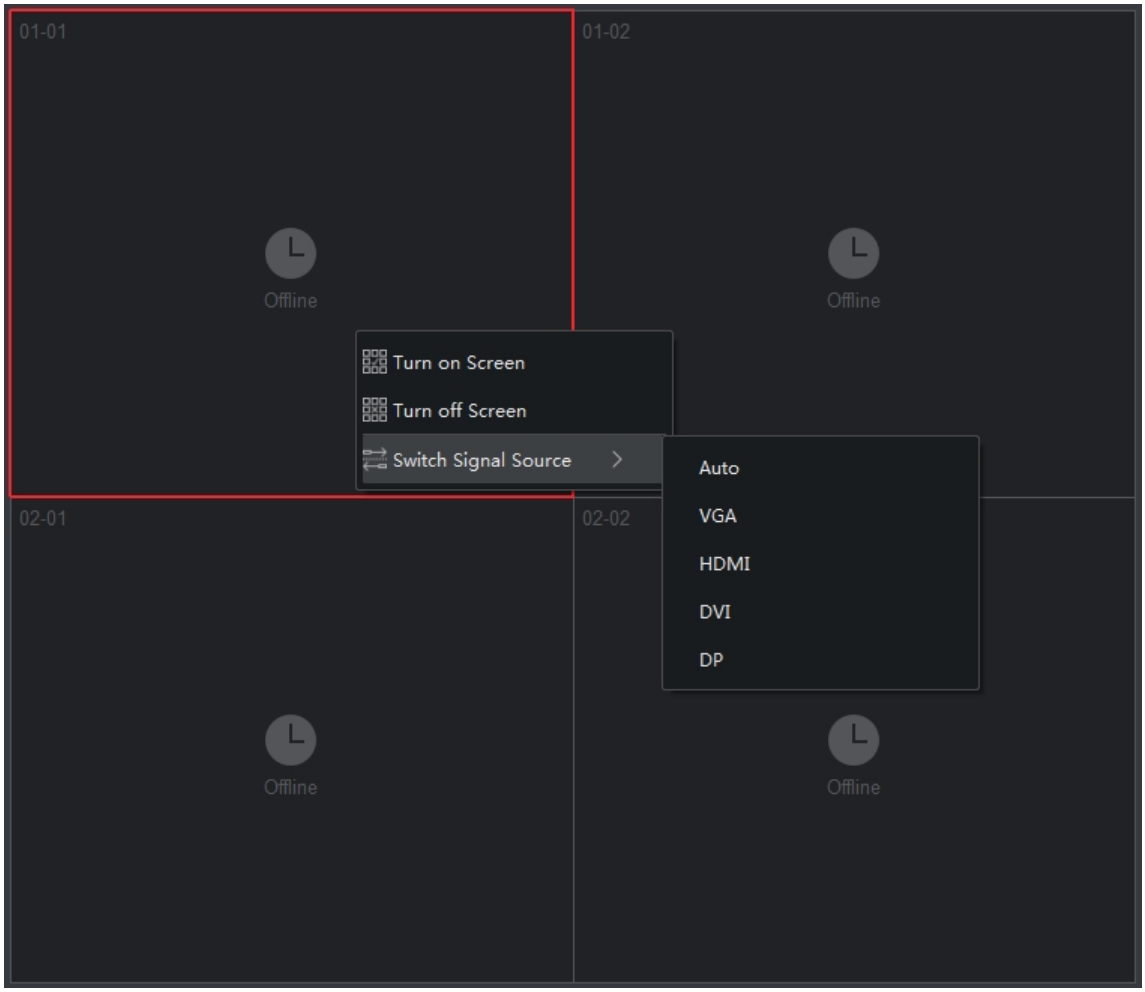


図 4-7 右クリックによる信号源の切り替え

- クライアントの右側にある [**信号源**] のドロップダウンリストから 1 つの信号源を選択し、**[OK]** をクリックして信号源を切り替えます。

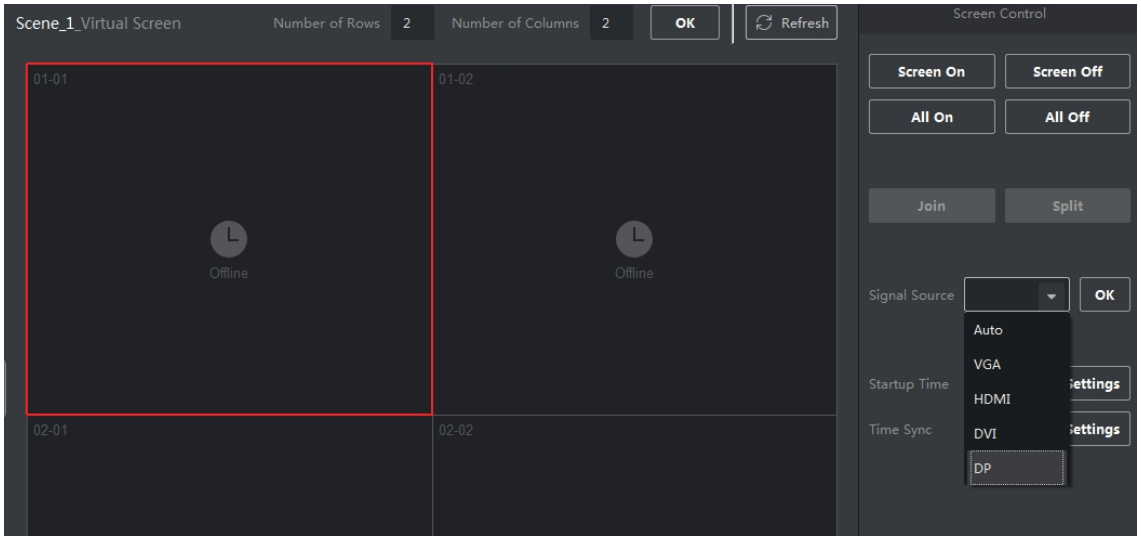


図 4-8 ドロップダウンリストによる信号源の切り替え

注

- サポートされる信号ソースの種類は、LCD ディスプレイのモデルによって異なります。シリアルポートが接続されると、クライアントは LCD ディスプレイからサポートされている信号ソースの種類を取得します。
- ディスプレイが信号ソースの種類に関する情報をクライアントに送信しない場合、クライアントは切り替え可能なデフォルトの 3 種類のみを提供します。これら 3 種類には、HDMI、VGA、および DVI が含まれます。

4.3.2 画面の結合

手順

1. 目的の画面を選択し、クライアントの右側にある **[結合]** をクリックして、画面の結合を完了します。

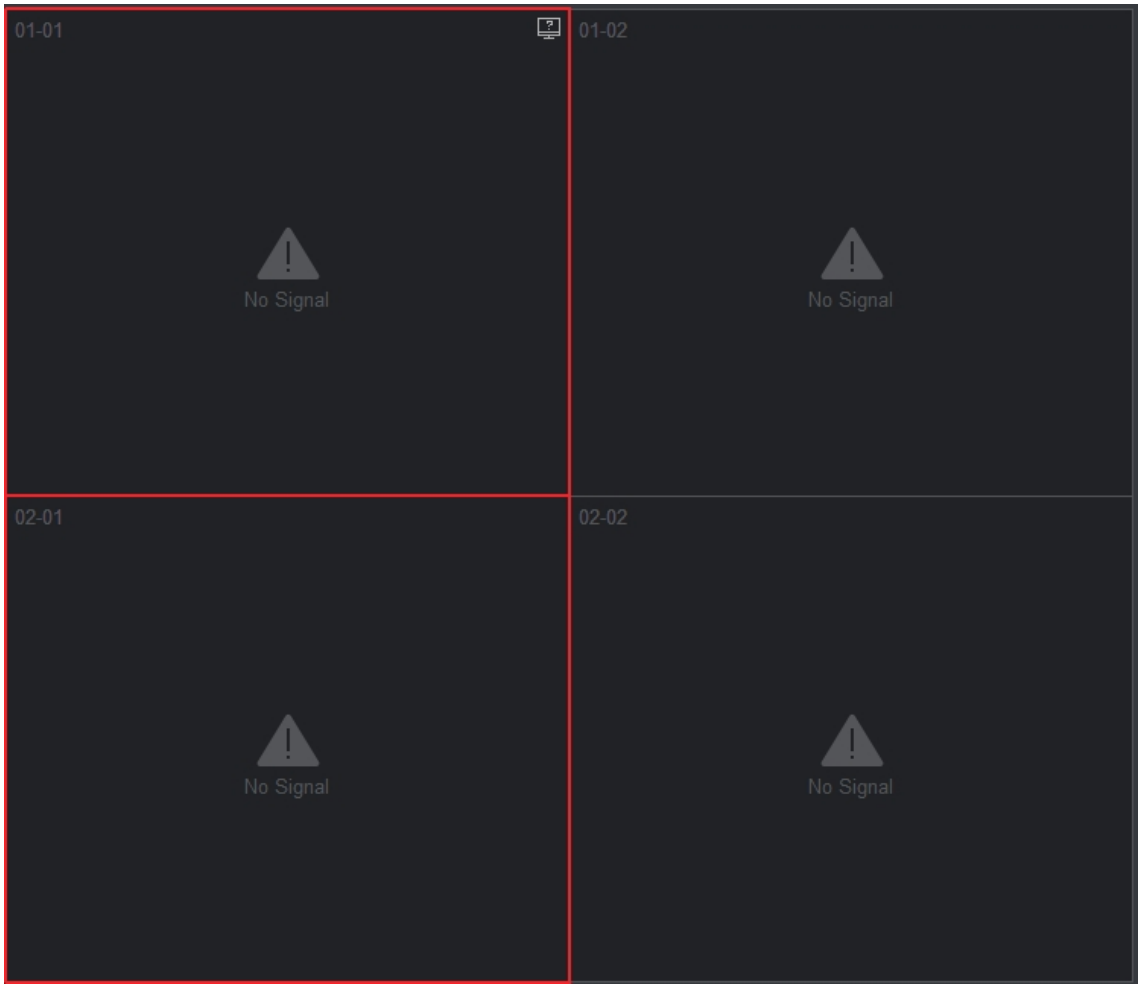


図 4-9 画面結合前

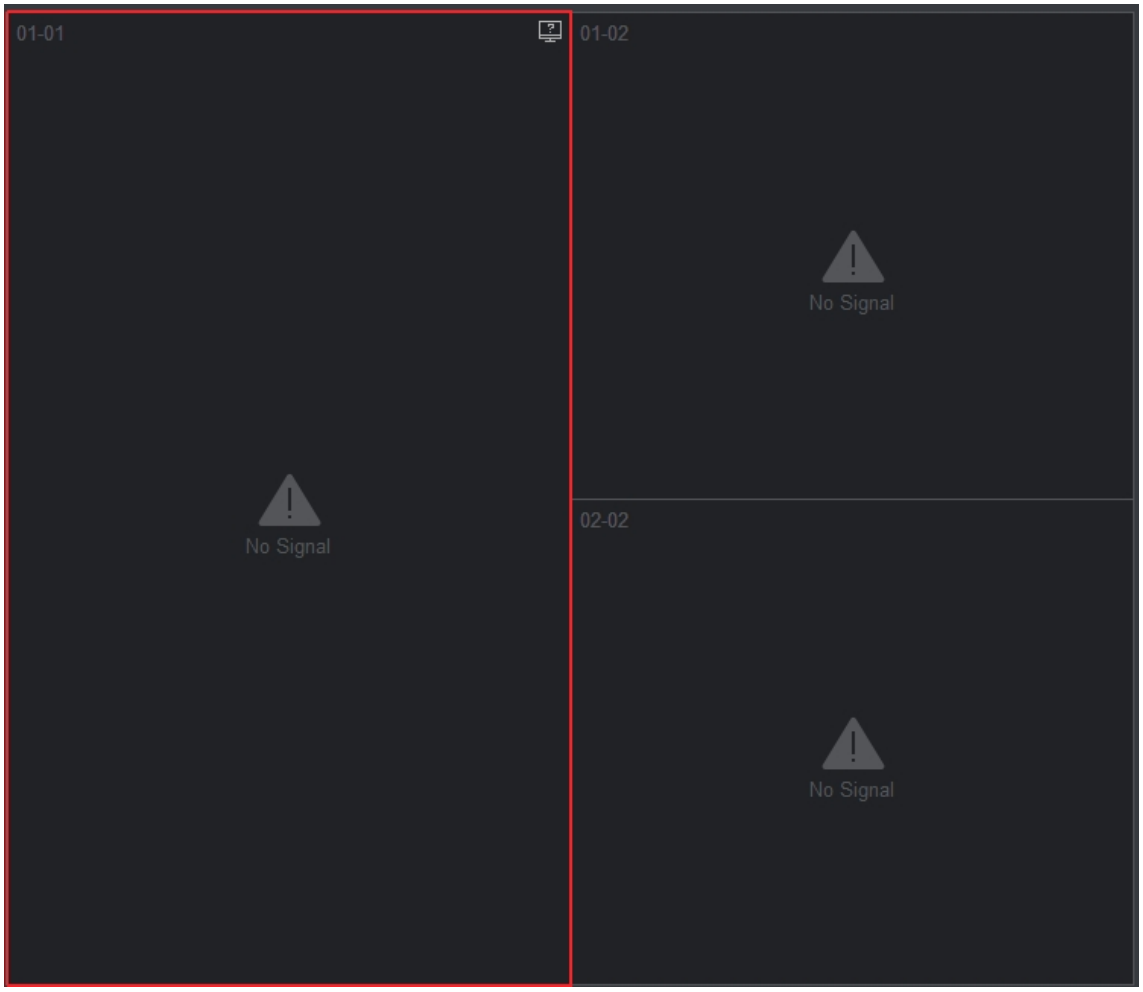


図 4-10 画面結合後

画面の結合後、複数の仮想画面が 1 つの画面に結合され、左上隅にその画面の 1 つの信号源画像が表示されます。

2. オプション：結合された画面を選択し、クライアントの右側にある **[分割]** をクリックして、結合された画面を分割します。

4.3.3 シーンの管理

シーンを設定および呼び出すことで、スクリーンをすばやく構成することができます。

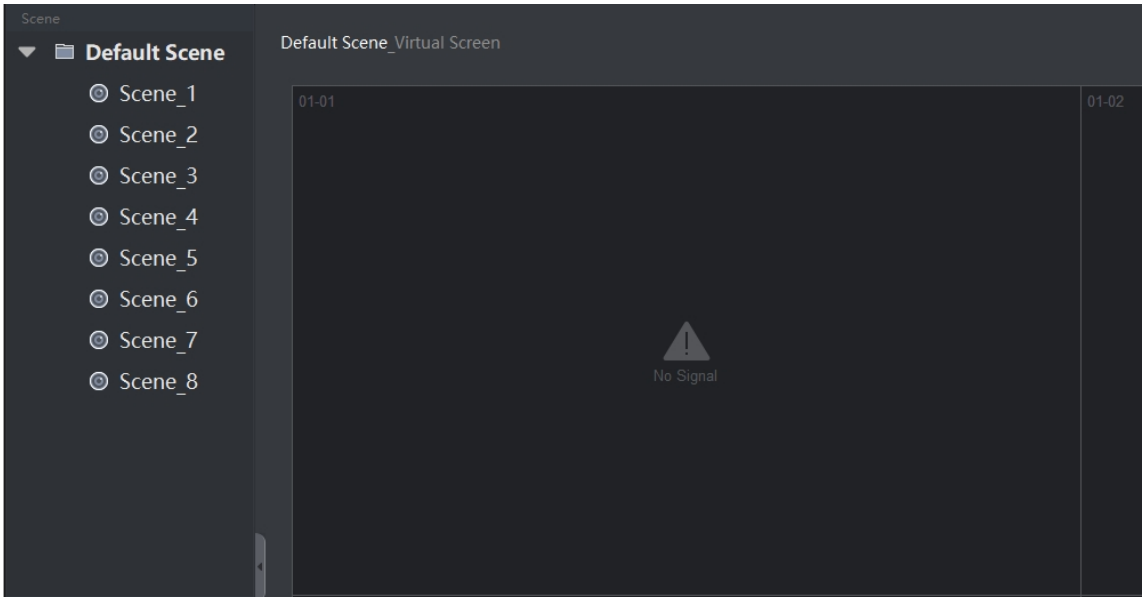


図 4-11 シーン管理

表 4-1 シーン管理の操作

操作	手順
シーンの保存	シーンを設定した後、他のシーンに切り替える前に、シーンを保存するよう促すメッセージが表示されます。
シーンの名前を変更する	シーンを選択し、「」をクリックして名前を変更します。
シーンを呼び出す	シーンを選択し、「」をクリックしてそのシーンを呼び出します。必要に応じて、シーンをダブルクリックして呼び出すこともできます。

注

- このクライアントは、最大8つのシーンに対応しています。
- デフォルトのシーンレイアウトは 2 × 2 です。

4.3.4 画面時間の同期

使用開始前に

LCD ディスプレイが同期機能をサポートしていることを確認してください。

手順クライアントの右側にある「時刻同期」の「設定」をクリックします。

1. クライアントの右側にある「**時刻同期の設定**」をクリックします。

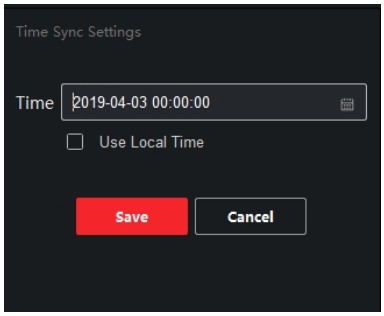


図 4-12 時刻同期の設定

2. 画面の時刻は、次の 2 つの方法のいずれかで設定できます。
   - [ ] をクリックして、日時を設定します。
   - **[Use Local Time]** にチェックを入れて、コンピュータの時刻を画面に反映させます。
3. **[Save]** をクリックして、時刻の同期を完了します。

4.3.5 画面ステータスの表示

1 つの仮想画面を選択し、画面右上隅の [ ] にカーソルを合わせると、情報を表示できます。

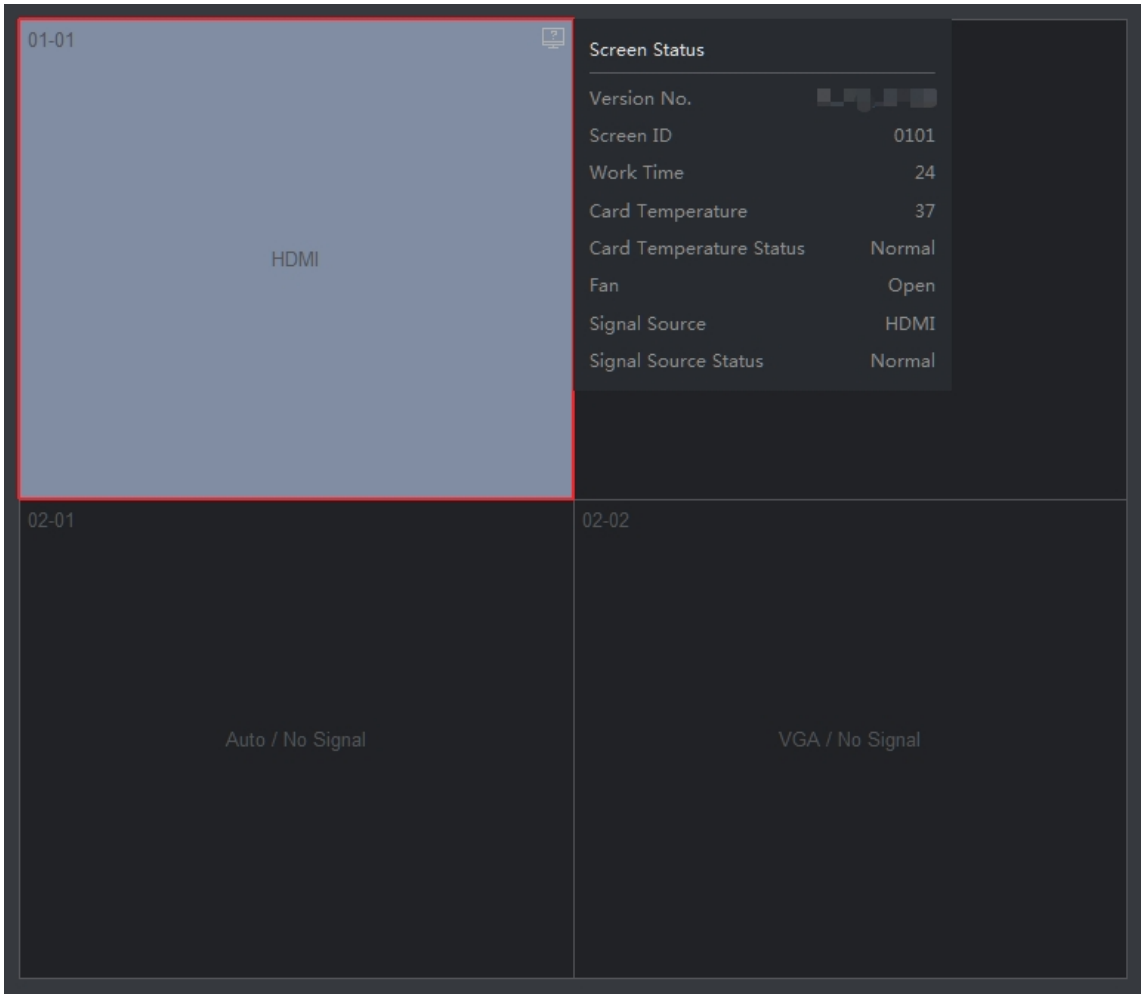


図 4-13 画面ステータスの表示

表 4-2 仮想画面の色の説明

カラー:	説明
緑	画面信号源は正常です。
黒	画面に信号が入力されていません。
	画面の電源がオフになっています。
	シリアルポートの接続に異常があります。
灰色	画面の状態が不明です。画面レイアウトが 3 × 3 未満の場合は、「**更新**」をクリックして最新のステータスを取得してください。
オレンジ画面の温度が高すぎます。	画面の温度が高すぎます。

4.3.6 画面パラメータの設定

画面パラメータの設定は、専門家のみが行うことをお勧めします。

手順

1. 「⚙」をクリックして、技術ページに入ります。
2. 設定したいスクリーンを 1 つ以上選択します。
3. 右側の画面でパラメータを設定します。

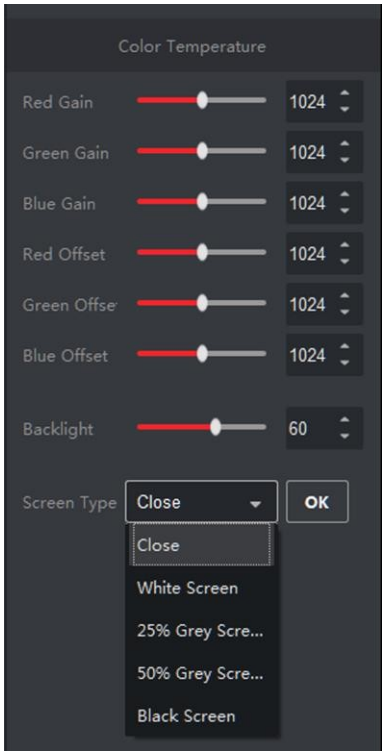


図 4-14 画面パラメータの設定

色温度

赤、緑、青のゲインまたはオフセットを設定できます。

バックライト

画面のバックライトの明るさを上げたり下げたりすることができます。

画面タイプ

色収差を調整するために、さまざまな画像を選択できます。

4.4 画面のオン／オフ

4.4.1 画面のオン／オフを手動で切り替える

開始する前に

シリアルポートはすでに正しく設定されています。

手順

1. 1つ以上の画面を選択します。
2. 以下の 2 つの方法のいずれかで、画面のオン/オフを切り替えることができます。
   - 右クリックして、「**画面をオンにする」または「画面をオフにする」**を選択します。
   - クリアントの右側にある [**画面のオン] または [画面のオフ]** をクリックします。

     注

     「すべてオン」または「すべてオフ」をクリックして、すべての画面のオン/オフを切り替えます。

   - リモコンの「**電源**」ボタンを押すか、仮想リモコンの「**電源**」をクリックします。

     注

     仮想リモコンから、電源のオン／オフコマンドが交互に送信されます。仮想リモコンで画面の電源をオン／オフできない場合は、もう一度お試しください。

4.4.2 スケジュールに従って画面の電源をオン／オフにする

起動時間を設定することで、画面の稼働時間を制御できます。

手順

1. 必要に応じて、1つまたは複数の画面を選択します。
2. クライアントの右側にある「**起動**時間の**設定**」をクリックします。

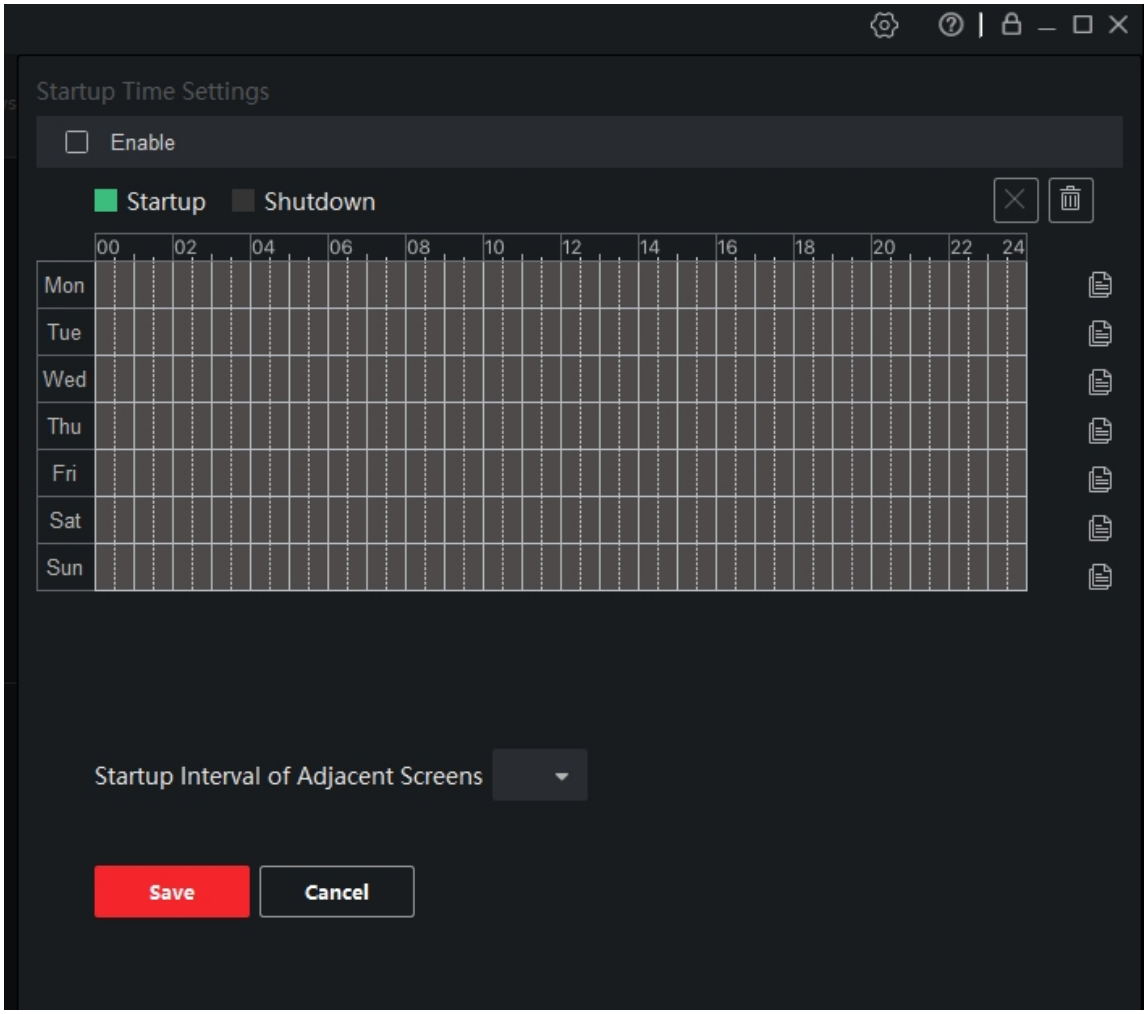


図 4-15 起動時間の設定

3. 曜日に緑色のバーをドラッグして描画します。緑色の領域は、ディスプレイがオンになっていることを示します。それ以外の時間帯は、ディスプレイがオフになります。
4. 緑色のバーを選択して、開始時刻と終了時刻を正確に設定します。
5. この操作を繰り返して、1 週間全体のスケジュールを設定します。

注

- 設定できる起動期間は最大2つまでです。
- 起動期間間の間隔は、2 分以上にしてください。

6. オプション：「起動時間設定」では、以下の操作も実行できます。選択した期間を削除します。

設定済みの期間をすべて削除します。

その日のスケジュールを、その週の他の日にコピーします。

7. オプション：電流のピークによる回路の損傷を防ぐため、隣接する画面の起動間隔を設定します。
8. [**有効にする**] にチェックを入れます。
9. [**保存**] をクリックして、起動時間設定を完了します。

注

一部の LCD ディスプレイモデルでは、起動時間の設定は、クライアントが実行されている場合にのみ有効になります。

4.5 クライアント管理

4.5.1 クライアントのロック/ロック解除

クライアントをロックして、他者が設定を変更できないようにすることができます。

手順

1. 右上隅の [ ] をクリックして、クライアントをロックします。

次の手順

クライアントのロックを解除するには、ログインパスワードを入力し、「**Unlock**」をクリックする必要があります。

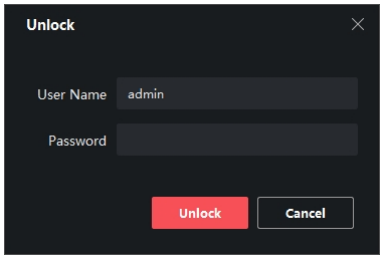


図 4-16 クライアントのロック解除

4.5.2 ログインパスワードの変更

手順

1. クライアントの右上隅にある [ ] をクリックし、[**Change Login Password**] を選択します。

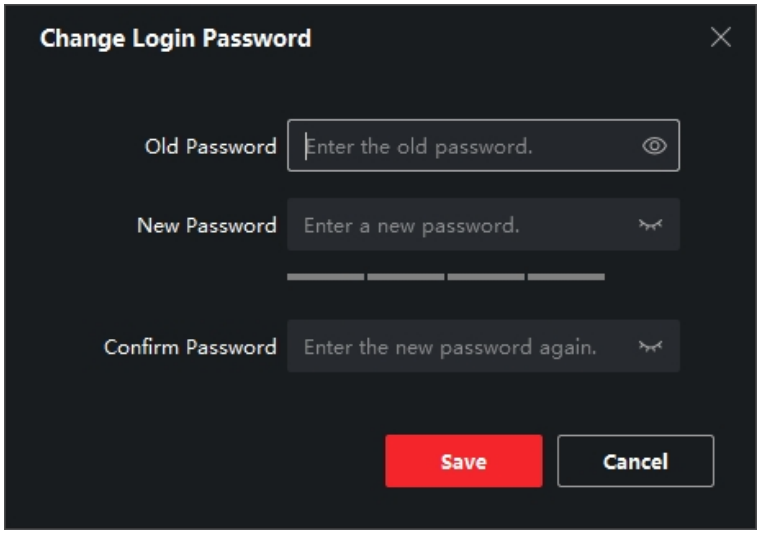


図 4-17 ログインパスワードの変更

2. 「**Old Password**」を入力し、「**New Password**」を設定して確認します。
3. **[保存]** をクリックして、ログインパスワードを変更します。

注

次回のログイン時には、新しいパスワードを入力する必要があります。また、「**パスワードを保存**」と「**自動ログイン**」に再度チェックを入れる必要があります。

4.5.3 自動ログインの有効化/無効化

クライアントの右上隅にある [ ] をクリックし、**[Enable/Disable Auto Login]** を選択します。**[Auto Login]** のチェックボックスをオンまたはオフにします。

4.5.4 クライアント情報の表示

クライアントの右上隅にある「 」をクリックし、「**About**」を選択すると、名前やバージョンなどを確認できます。

4.5.5 オープンソースソフトウェアのライセンスを表示する

クライアントの右上隅にある「 」をクリックし、「**Open Source Software Licenses**」を選択すると、ルートディレクトリ内のオープンソースソフトウェアのライセンスを表示できます。

「Far」を見て、さらに先へ
Go